

令和7年度 宮城支部保険者機能強化予算（案）について

1. 支部保険者機能強化予算について	 1ページ
2. 令和7年度支部保険者機能強化予算（案）について	 2ページ

1. 支部保険者機能強化予算について

【支部保険者機能強化予算とは】

○ 支部の創意工夫を可能な限り活かしながら、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的として設けられている。

【令和7年度支部保険者機能強化予算額】

支部医療費適正化等予算

○ 支部の「医療費適正化対策」及び「広報・意見発信」に対し措置する予算。支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、加入者数を踏まえて設定される。

予算枠 → 15,451千円（令和6年度:15,451千円 前年度比:±0千円）

要求額 → **15,450千円（令和6年度:15,448千円 前年度比:+2千円）**

支部保健事業予算

○ 保健事業における重点的な取組等に対し措置する予算。支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、特定健診の対象となる40歳以上の加入者数を踏まえて設定される。

予算枠 → 75,085千円（令和6年度:75,085千円 前年度比:±0千円）

要求額 → **75,081千円（令和6年度:75,069千円 前年度比:+12千円）**

特別枠予算

○ これまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組が対象となる。

予算枠 → 18,570千円

要求額 → **4,857千円**

2. 令和7年度支部保険者機能強化予算（案） について

(1) 支部医療費適正化等予算

目的	区分	取組名	予算
医療費適正化対策	継続	医療機関及び薬局向け『ジェネリック医薬品使用割合等の「見える化」ツール』の発送	718千円
	継続	ポリファーマシーの解消に向けた服薬情報通知	4,894千円
	新規	地域フォーミュラリの関係団体への提案	3,300千円
	継続	「上手な医療のかかり方」の広報	2,756千円
広報・意見発信	継続	納入告知書同封チラシなどの紙媒体の広報など	3,782千円
支部医療費適正化等予算合計			15,450千円

2. 令和7年度支部保険者機能強化予算（案） について

(2) 支部保健事業予算

目的	区分	取組名	予算
健診受診率の向上	継続	事業者健診結果データ提供にかかる同意書取得勧奨業務委託等	8,063千円
	継続	生活習慣病予防健診（被保険者）受診率向上のための取組	3,240千円
	継続	被扶養者の特定健診受診率向上のための取組	4,628千円
	新規	特定健診プラス、プラスレディースの利用勧奨、被扶養者の事業者健診取得	1,018千円
	新規	「健診に行こう！キャンペーン」の実施	4,319千円
特定保健指導の 利用促進	継続	中間評価時の血液検査費、医師謝金、保健指導用図書購入費等	7,414千円
重症化予防	継続	未治療者に対する受診勧奨	11,589千円
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	1,536千円
	継続	コントロール不良者に対する個別介入	4,625千円
コラボヘルスの推進	継続	職場健康づくり宣言の普及促進	3,803千円
	継続	職場健康づくり宣言事業所に対するフォローアップ	10,567千円
	新規	業界団体広報媒体を活用した健康啓発	2,360千円
	新規	健康カレンダーの作成	1,254千円

2. 令和7年度支部保険者機能強化予算（案） について

(2) 支部保健事業予算

目的	区分	取組名	予算
健康増進	継続	健診前通知事業	5,533千円
	新規	小学生等への健康教育を通じた健康づくり	605千円
	継続	受動喫煙防止宣言施設勧奨	350千円
	継続	公衆衛生学教授との共同研究、保健事業実施計画アドバイザー料	781千円
	新規	LINEを使用したヘルスリテラシー向上	2,076千円
	新規	メルマガを使用したヘルスリテラシー向上	1,320千円
保健事業予算合計			75,081千円

(3) 支部保健事業予算（特別枠）

目的	区分	取組名	予算
健康増進	継続	ターゲットを絞った睡眠健康度カルテの情報発信	4,857千円
保健事業予算（特別枠） 合計			4,857千円